



11  
Nov. 2021

No.796

ふたばの  
きんぼすの  
きんぼすの

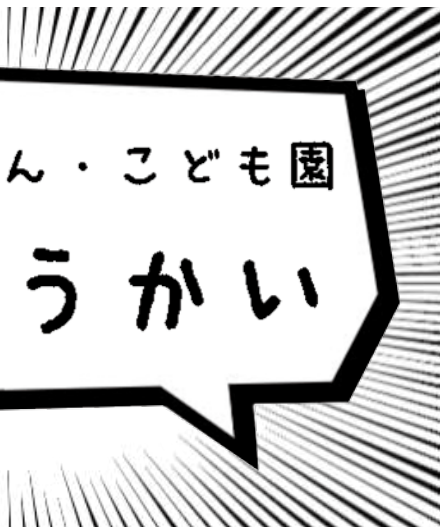
### 11月号の主な掲載記事

- 町立幼稚園・こども園の運動会  
    フォトレポート ..... P.2
- 令和2年度の財政再建効果額 ..... P.4
- 令和2年度の涌谷町の決算 ..... P.6
- 日本遺産PRコンテスト2021  
    きんぼすの募集 ..... P.14





涌谷南  
幼稚園



ん・こども園  
うかい

も、園児の皆さんは、メダリストのように一生懸命躍動し、時に真剣に、時に朗らかな金メダルのようにきらきら輝く表情で、競技に臨んでいました。



涌谷  
幼稚園





ののだけ  
幼稚園



町立ようちえ  
うんど

さくらんぼ  
こども園



今年度も新型コロナ  
ウイルスの感染拡大  
防止の観点から、競技  
種目や参観者の縮小と  
なった町立幼稚園・こ  
ども園の運動会。  
そのような状況下で





# 涌谷町財政再建計画の効果額を報告します

## 令和2年度の効果額は

# 2億円

本町では、これまでの決算状況および平成31年度当初予算編成などから、今後の財政状況を推計したところ、数年後には財源不足に陥る可能性があることから、その問題を解消する具体的な計画として全38項目の「涌谷町財政再建計画」を令和元年9月にまとめました。

この計画は、令和元年度から令和5年度までの5年間で見込まれる約11億円を超える財源不足を解消するために、町民の皆さんや地域団体などに負担をお願いするとともに、これまでの行政サービスを見直すことにより、13億7,761万3千円の効果を見込むものとしています。

計画2年目となる令和2年度は、2億4,160万3千円を見込んでいましたが、全38項目のうち12項目で計画の効果額に達せず、当初の見込みより4,039万6千円減の、2億120万7千円の効果額となりました。

令和3年度以降も、財政再建へ向け計画の取り組みを確実に実行してまいります。

## 財政再建計画による効果額の見込みと実績

単位：千円

	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	合計
財政再建を実施しない場合の不足額 [推計]	△ 196,230	△ 194,804	△ 243,720	△ 243,461	△ 288,539	△1,166,754
財政再建を実施した場合の効果額 [見込み] (A)	163,333	241,603	278,354	325,080	369,243	1,377,613
財政再建を実施した効果額 [実績] (B)	191,177	201,207	—	—	—	392,384
効果額の増減 (B) - (A)	27,844	△40,396	—	—	—	△12,552
計画達成率 (B) ÷ (A)	117.0%	83.3%	—	—	—	—

## 主な効果額の内容

収入の確保(全8項目) 計画 2,055万円  
実績 2,944万円  
増減 889万円

- 1 税等徴収率向上 815万円  
徴収率について前年比0.3%増。
- 2 各種施設使用料等の見直し 113万円  
施設使用料などについて減免などを見直し、料金を改定。
- 3 放課後学童クラブ利用料の創設 491万円  
受益者負担として利用料を創設。
- 4 ふるさと納税の推進 1,154万円  
積極的なPRの展開や返礼品の商品開発の活性化による増。

資産の有効活用など(全8項目) 計画 1,118万円  
実績 791万円  
増減 △328万円

- 1 八雲児童館機能の集約 472万円  
八雲児童館の閉館と児童クラブの再編・充実。
- 2 普通財産貸付料の見直し 296万円  
財産の貸付料などについて見直し。

特別会計等(全8項目) 計画 8,733万円  
実績 △902万円  
増減△9,634万円

- 1 国民健康保険医療費の適正化 157万円  
予防事業強化による給付費の適正化。
- 2 介護給付費の適正化 4,465万円  
予防事業強化による給付費の適正化。
- 3 後期高齢者保険医療費の適正化 1,309万円  
予防事業強化による給付費の適正化。
- 4 介護予防事業利用料の創設 95万円  
介護予防運動教室の利用料を徴収。
- 5 下水道事業経営計画見直し 8,547万円  
経営計画を見直し、資本費平準化債などを活用し一般会計負担額を抑制。
- 6 病院事業経営計画見直し △1億5,400万円  
経営健全化に取り組んだが、繰出しが増加したため減。

経費の見直し(全19項目) 計画 1億2,253万円  
実績 1億7,288万円  
増減 5,034万円

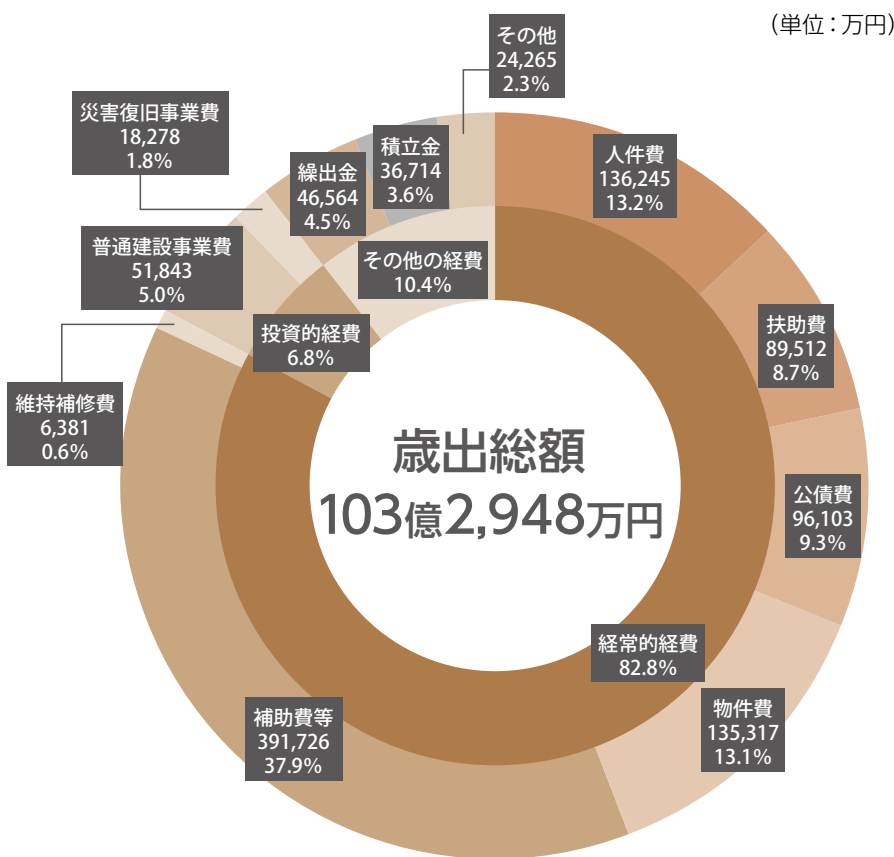
- 1 特別職人件費の削減 777万円  
特別職の給料・報酬について削減。
- 2 職員人件費の削減 441万円  
管理職手当について、50%削減。
- 3 定員適正化計画の見直し 5,664万円  
退職職員分不補充による削減。
- 4 職員時間外勤務の抑制 1,000万円  
時差出勤制度の活用などによる削減。
- 5 組織見直しに係る各部署の再編 54万円  
課の集約による経費の削減。
- 6 各種委託業務の仕様見直し △5,389万円  
委託業務量の増加による経費の増。
- 7 消耗的経費の節約推進 3,402万円  
全庁を上げて、消耗的経費の節約を推進。
- 8 指定管理制度の積極的活用 360万円  
指定管理制度活用による経費の削減。
- 9 町長等交際費の見直し 272万円  
各種交際費について見直し。
- 10 敬老事業の見直し 274万円  
敬老祝い金を減額し、敬老会の実施内容を見直し、経費を削減。
- 11 子ども医療費助成事業見直し 1,406万円  
予防啓発活動強化などによる医療の適正化。
- 12 子育て支援事業体制整備 1,001万円  
子育て利用者支援事業の体制を整え、国庫補助制度の活用を図り、一般財源を削減。
- 13 幼児教育・保育負担軽減策 1,217万円  
国県からの補助による一般財源の削減。
- 14 各種イベントスケジュールの見直し 281万円  
イベントの中止、従事職員の縮減、スケジュールの見直しによる削減。
- 15 各種団体の見直し 6,090万円  
各種団体の補助金削減協力による効果。

## 《一般会計決算のあらまし》

令和2年度に皆さんに納めていただいた税金や、国、県から町にどれくらいお金が入ってどのように使われたかなど、町の財政状況をお伝えします。

令和2年度の一般会計決算は、歳入(収入)105億1,741万円、歳出(支出)総額103億2,948万円となり、令和3年度に繰り越す財源を差し引いた1億7,784万円が剰余金(実質収支額)となりました。この剰余金を令和3年度予算に繰り越したのち、地方財政法の規定により、2分の1相当の8,900万円を令和3年度基金(町の貯金)に積み立てます。

歳出は、令和元年台風19号関連の災害復旧事業の減額はあったものの、稲わらなどの災害廃棄物処理事業や新型コロナウイルス感染症にかかる感染拡大防止対策や各種支援、大崎地域広域行政事務組合への負担金の増額や黄金山工業団地整備にかかる償還金の増額などにより、歳出全体としては前年度より26億2,046万円増加した決算となりました。



### 町民1人あたりの歳出 (一般会計) 669,311円

**補助費等** 253,823円  
各種団体への負担金や補助金など

**人件費** 88,282円  
町職員の給与や議員報酬など

**物件費** 87,680円  
光熱水費、消耗品費、業務委託料などに使うお金

**扶助費** 58,000円  
障害者支援、医療費助成など福祉に使うお金

**普通建設事業費** 33,592円  
道路、学校などの新設・改修に使うお金

**公債費** 62,271円  
借入金の返済に係る元金と利子

**繰出金** 30,172円  
国民健康保険など他の会計への繰出金

**積立金** 23,789円  
将来の財源変動に備え積み立てるお金

**投資および  
出資金・貸付金** 15,723円  
企業会計への出資や貸付金

**災害復旧事業費** 11,844円  
災害復旧に使うお金

**維持補修費** 4,135円  
道路、公共施設などの維持補修に使うお金

※令和3年3月31日現在の涌谷町の人口15,433人で計算しています。

- 指定避難所の環境整備の他、備品などの充実。
- 小・中学校の特別教室に空調設備を設置、G I G Aスクール構想における、児童生徒一人一台のタブレット端末と通信環境を整備。
- 「県営ほ場整備事業」による農地の汎用化や、ブランド米「金のいぶき」の作付面積拡大と販売促進。
- ふるさと納税の返礼品の新規開発と充実。

# 令和2年度

## 涌谷町の決算をお知らせします

### 町税

町民税	5億8,225万円
固定資産税	7億5,800万円
軽自動車税	6,046万円
町たばこ税	1億3,116万円
合計	15億3,187万円

### 諸収入

預金利子や雑入など

### 繰入金

基金(町の貯金)から引き出したお金

### 繰越金

前年度に残ったお金

### 使用料・手数料

公共施設の利用料金や住民票の写しの交付手数料など

### 地方交付税

国税のうち町に対して交付されるもの

### 町債

町が国や銀行から借りたお金

### 国庫支出金

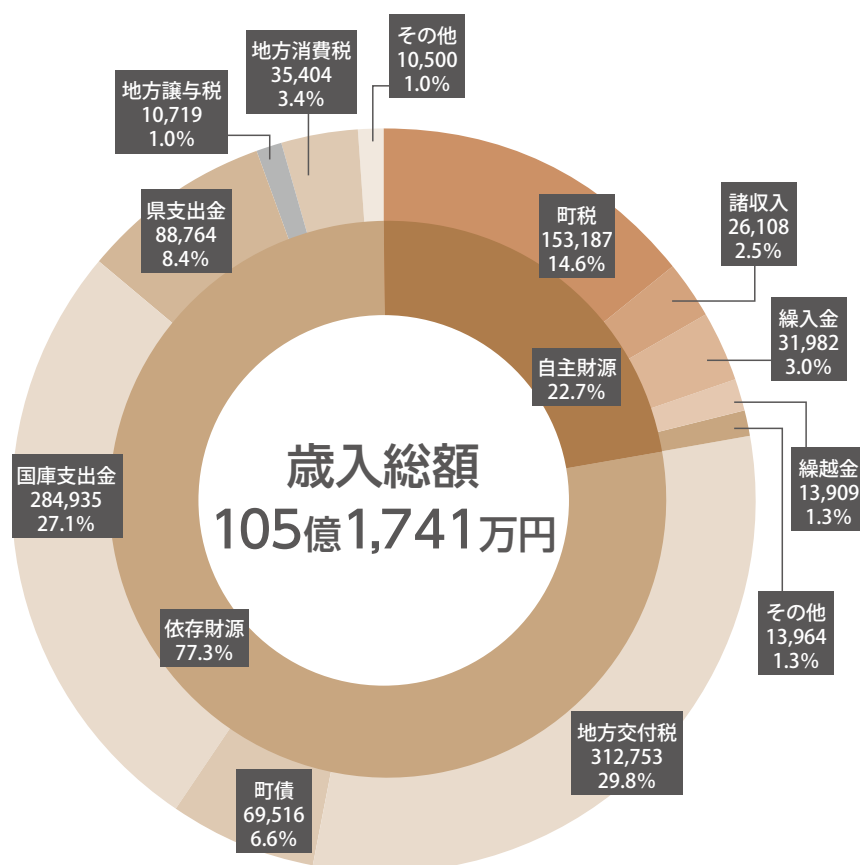
使い道が特定される国が町に対して支出したお金

### 県支出金

県が町に対して支出したお金

### 譲与税

国税・県税のうち町に対して交付されるもの



歳入は、自主財源の町税が約1,400万円減収となったことなどから減少し、構成比は全体の22.7%になりました。依存財源については新型コロナウイルス感染症対策等の国庫支出金や県支出金などが大幅に増加したことにより構成比は77.3%になりました。歳入全体としては前年度より26億6,929万円増加した決算となりました。

### 【令和2年度に実施した主な事業】

- 新型コロナウイルス感染症にかかる感染拡大防止や各種支援を実施。
- わくわくスマイル児童クラブを開所し、全クラブの対象学年を6年生まで拡大。
- 子育て世代包括支援センターを立ち上げ、子育て家庭や妊産婦への情報提供や相談、必要な支援を円滑に行えるよう体制を整備。
- 企業誘致において、1社と企業立地協定を締結。

## 特別会計・企業会計の決算状況

### 企業会計

会計名	収入	支出
<b>国民健康保険病院事業会計</b>		
<収益的収支>	20億1,196万8千円	20億7,371万4千円
<資本的収支>	1億4,037万4千円	1億3,194万6千円
患者数 入院 34,687人(年間延)(1日平均 95.0人)		
外来 41,103人(年間延)(1日平均 169.1人)		
<b>老人保健施設事業会計</b>		
<収益的収支>	5億288万7千円	5億2,323万7千円
<資本的収支>	3,239万6千円	3,259万2千円
入所者数 27,227人(年間延)(1日平均 74.6人)		
通所者数 9,422人(年間延)(1日平均 31.3人)		
<b>訪問看護ステーション事業会計</b>		
<収益的収支>	5,279万1千円	6,358万円
<資本的収支>	—	995万9千円
訪問看護利用者数 3,165人(年間延)(1日平均 10.8人)		
訪問リハ利用者数 3,046人(年間延)(1日平均 12.5人)		
<b>水道事業会計</b>		
<収益的収支>	4億3,924万円	4億381万2千円
<資本的収支>	8,062万9千円	1億8,264万7千円
・給水人口 14,930人	・年間配水量 1,532,380m <sup>3</sup>	
・給水戸数 5,977戸	・年間有収水量 1,288,864m <sup>3</sup>	
<b>下水道事業会計</b>		
<収益的収支>	4億9,580万2千円	4億7,542万2千円
<資本的収支>	2億7,508万7千円	4億1,039万3千円
・接続人口 6,076人	・年間処理水量 670,924m <sup>3</sup>	
・接続戸数 2,251戸	・年間有収水量 609,552m <sup>3</sup>	

### 特別会計

会計名	収入	支出
<b>国民健康保険特別会計</b>	20億2,890万7千円	19億9,772万1千円
・被保険者数		4,032人
・一人当たり費用額		406,237円
<b>後期高齢者医療保険特別会計</b>	1億8,199万2千円	1億7,687万4千円
・被保険者数		2,789人
<b>介護保険特別会計</b>	19億110万6千円	18億7,509万円
・1号被保険者数		5,800人
・要介護(要支援)認定者数		1,032人
・保険給付費		16億6,057万円



企業会計において、資本的収入が資本的支出に不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。

## 健全化判断比率などの状況(令和2年度決算)

### (1) 健全化判断比率

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
— (15.00)	— (20.00)	9.2 (25.0)	40.1 (350.0)

※( )内は早期健全化基準です。実質赤字比率・連結実質赤字比率は黒字であるため「—」で表示しています。

### (2) 資金不足比率

会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	—	20.0
下水道事業会計	—	
国民健康保険病院事業会計	4.9	
老人保健施設事業会計	—	
訪問看護ステーション事業会計	—	

※地方公共団体の公営企業会計ごとの資金の不足額の度合いを表す指標で、経営状態の悪化の度合いを示す指標ともいわれています。20%以上で経営健全化団体となり公営企業の経営健全化を図る計画を策定しなければなりません。



### 令和2年度末現在の基金・公有財産の状況

#### 基金

基金名	決算年度末現在高
財政調整基金	6億8,031万4千円
減債基金	4億2,330万9千円
震災復興基金	3,936万3千円
ふるさと涌谷創生基金	1億8,769万3千円
公営住宅用地取得基金	1,609万7千円
保健福祉基金	436万5千円
農業振興奨励基金	661万7千円
農業高齢者肉用牛貸付基金	8頭 0円
肉用牛特別導入事業基金	5頭 598万6千円
ふるさと水と土保全基金	1,129万円
森林環境整備基金	403万4千円
歴史文化基金	744万8千円
新型コロナ中小企業等支援基金	1,020万円
新型コロナ農畜産業支援基金	277万4千円
土地開発基金	329,499㎡ 3,445万9千円
国保会計財政調整基金	5億9,139万円
国保出産費資金貸付事業基金	300万円
介護保険給付基金	1億7,790万8千円
合計	22億8,475万8千円

#### 公有財産(土地および建物)

区分	決算年度末現在高	
	土地(㎡)	建物(㎡)
本庁舎	8,214.35	3,294.87
医療福祉センター	57,098.53	3,430.05
その他の 行政機関	消防施設など 4,030.63	8,471.42
	その他の施設	—
公共用 財産	学校	138,016.91
	公営住宅	58,250.32
	公園	131,518.04
	その他の施設	438,479.04
山林	947,487.00	—
その他の施設および土地	1,318,277.79	10,313.47
合計	3,101,372.61	100,037.15

### 令和3年度執行状況

令和3年9月30日現在

会計名	予算現額 (繰越額を含む)	収入済額		支出済額		
		金額	収入割合	金額	支出割合	
一般会計	79億797万3千円	41億3,504万6千円	52.3%	31億8,808万5千円	40.3%	
国民健康保険特別会計	20億1,405万9千円	7億6,976万円	38.2%	8億5,671万8千円	42.5%	
後期高齢者医療保険特別会計	1億8,005万4千円	6,578万4千円	36.5%	6,089万1千円	33.8%	
介護保険特別会計	18億8,147万6千円	7億9,896万9千円	42.5%	7億7,298万2千円	41.1%	
水道事業会計	収益的収入	4億2,764万円	2億396万1千円	47.7%	—	—
	収益的支出	4億1,352万4千円	—	—	1億2,110万7千円	29.3%
	資本的収入	5,015万4千円	75万9千円	1.5%	—	—
	資本的支出	1億3,475万5千円	—	—	3,865万1千円	28.7%
下水道事業会計	収益的収入	4億8,035万4千円	1億8,074万6千円	37.6%	—	—
	収益的支出	4億7,940万6千円	—	—	6,447万6千円	13.4%
	資本的収入	2億3,966万6千円	6,965万7千円	29.1%	—	—
	資本的支出	3億7,649万円	—	—	1億8,664万3千円	49.6%
国民健康保険 病院事業会計	収益的収入	20億2,642万3千円	9億7,403万7千円	48.1%	—	—
	収益的支出	20億5,149万7千円	—	—	8億5,738万1千円	41.8%
	資本的収入	9,020万7千円	5,040万7千円	55.9%	—	—
	資本的支出	1億3,214万4千円	—	—	4,639万円	35.1%
老人保健施設 事業会計	収益的収入	5億1,959万9千円	2億5,448万5千円	49.0%	—	—
	収益的支出	5億3,273万3千円	—	—	2億2,545万5千円	42.3%
	資本的収入	3,114万4千円	3,114万4千円	100.0%	—	—
	資本的支出	3,214万3千円	—	—	1,626万8千円	50.6%
訪問看護ステーション 事業会計	収益的収入	6,335万6千円	2,956万6千円	46.7%	—	—
	収益的支出	6,018万2千円	—	—	2,433万5千円	40.4%
	資本的収入	—	—	—	—	—
	資本的支出	1,038万1千円	—	—	1,038万1千円	100.0%

この報告は「涌谷町財政事情書の作成及び公表に関する条例」により公表するものです。

▶問い合わせ先 企画財政課財政班 ☎43-2112・Eメール：gr-zaimu@town.wakuya.miyagi.jp



### 第40回全日本小学生バンドフェスティバル東北大会で金賞 大阪城ホールで開催される全国大会に出場が決定

10月3日(日)に、福島県福島市の県営あづま総合体育館で開催された第40回全日本小学生バンドフェスティバル東北大会で、涌谷第一小学校マーチングバンドが「きらきらぼし」を演奏し、金賞の栄冠に輝き、11月20日(土)に大阪府で開催される全国大会への切符を手に入れました。

涌谷第一小学校マーチングバンドの全国大会への出場は、平成27年度の第34回大会以来の快挙です。

今年度は18人いる部員のうち半数が新入部員という状況であり、また、新型コロナウイルス感染症の影響で、練習を思うようにできない期間もあった中で、部員の皆さんは大会に向けて気持ちを切らすことなく、楽器を家に持ち帰って練習したり、先輩部員が新入部員に指導するなど、部員たちが積極的に練習に励んできたことで、今回の成果へとつながりました。

### 第32回宮城県中学校 駅伝競走大会結果

10月6日(水)に、栗原市にある築館陸上競技場において、宮城県中学校駅伝競走大会が開催され、遠田郡を勝ち抜いた涌谷中学校の男子Aチームと女子Aチームが出場しました。

地区大会同様に、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点からたすきをつながらず、男子は選手6人、女子は選手5人がトラックを周回し、その合計タイムで競い合いました。

涌谷中学校は、男子は全30チーム中26位、女子は全29チーム中19位という結果でした。

出場した選手は、「県大会の壁は厚かったです。それでも、遠田郡大会の後、限られた時間で練習を重ね、ベストは尽くしました」と結果に悔しさをにじませながらも、晴れ晴れとした表情を見せてくれました。

